(様式1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 25 年 11 月時点

※本様式は1-2①に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	169	事業名	出土遺物整理収蔵施	事業番号	◆A-4-6-1		
交付	 団体		事業実施主体(直接/間接)	いわき市(直接)			
総交付対象事業費			246, 578 (千円)	全体事業費	2	246,578 (千円)	

事業概要

被災した個人住宅等の再建伴う埋蔵文化財発掘調査等で出土する遺物等を整理・収蔵する施設 を整備する。

施設の規模・内容

- · 敷地面積 2,028 m²(考古資料館脇の市有地)
- 収蔵棟 1棟(443.66 m²) 棚を設置し、効果的な収蔵を行う。

【復興ビジョン】

〇取組の柱1 被災者の生活再建

主な取組み:津波等により被害を受ける危険性の低い場所への集団移転なども視野に入れ、一

刻も早く本格的な生活再建ができるよう、様々な取組みを進めます。

〇取組の柱3 社会基盤の再生・強化

主な取組み:被害の大きかった沿岸域等について、地域の意見を聴きながら、地域特性を活か

した土地利用計画を策定します。

【復興事業計画(第一次)】

〇取組の柱3 社会基盤の再生・強化 (1) 生活基盤の再生

取 組 名:防災集団移転促進事業

取組内容:津波等により災害が発生した地域において、住民の居住に適当でないと認められる

区域内にある住居の集団移転を支援する。

○重点施策 1 津波被災地域の復興に向けた土地利用プロジェクト

東日本大震災の被害との関係

〇市内の被害状況(総務省統計局の公表結果より)

全壊:7,710 棟、半壊:30,798 棟、一部損壊:45,576 棟

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	A - 4 - 6
事業名	埋蔵文化財発掘調査事業
直接交付先	市

基幹事業との関連性

埋蔵文化財発掘調査は、埋蔵文化財包蔵地内における大規模な開発行為等の際に行う調査であり、調査終了後に出土した遺物を整理し、報告書を刊行し完了となる。これまで防災集団移転事業等の計画地における試掘を行ったほか、今後は被災した個人住宅等の再建に伴う試掘・確認調査及び本発掘調査が控えており、大量の遺物が出土することが確実である。しかし、既存の整理・収蔵施設の空きスペースには余裕がないため、埋蔵文化財発掘調査に支障をきたすこととなり、つまりはいわき市における復興事業の促進に大きな支障をきたすこととなります。

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等(いわき市交付分)

No. 169 事業名	出土遺物整理収蔵施設整備事業	効果促進事業	基本国費率(a)	4/5
-------------	----------------	--------	----------	-----

(千円)

			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降	合計
糸	総事業費 (b+f)				6, 674	239, 904			246, 578
	交付対象事業費(b)				6, 674	239, 904			246, 578
重	うち、市町村以 担する額を減じ				6, 674	239, 904			246, 578
事業費	うち交付金交付額 ○基幹事業の場合 (d)=a×b+(c−a ○効果促進事業等 (d)=0.8c	×b)/2			5, 339	191, 923			197, 262
	対象外事業費(f)				0	0			0
事業工程	交付対象事業				測量・調査	設計委託 敷地造成工事 本体杭工事 本体工事 本体工事			
工程	対象外事業								

復興交付金事業等に要する費用の算出に係る基礎資料(平成25年度)

(単位:千円)

														<u>(単位:千円)</u>
	復興交	付金事	業	等の:	名称/目的	及び内容					3	を付金の	D算出方法	
事	4	ŧ	名	出土業	遺物整理収	蔵施設整備₽	事	事		費	(A)		6,674	
笛	Ē	沂	名	いれ	つき市考古	資料館	为 控	除		額	(B)			
事告	業 示 ^左	認 F 月	可日					付 対 (C):		事 第 -(B)	美 費		6,674	
事	業着	手 年	度	平成25年度				本	国	費	率		4/5	
事	業 施	行 期	間		平成25~	交	付		額	(D)	5,339			
工施	事 延 行	長 及 面	び 積	2,028m²							摘		要	
事	業完了	予定期	月日		平成26年度				工種			数量	単位	金額
	経	費		σ) 配	分	(設計委託費 (測量設計·地質調 査)					式	6,674
本	エ	事	費											
設	計多	委 託	費			6,674								
用	地費刀	及 補 償	費											
船	舶及機	械器具	費											
エ	事	計	(A)						;	本工	事費·計		6,674	

復興交付金事業等に要する費用の算出に係る基礎資料(平成26年度)

(単位:千円)

													<u>(単位:千円)</u>
	復興交付金事業	業等	等の名称/目	目的及び内容	}					3	を付金の	D算出方法	
事	業	名	出土遺物整理収蔵施設整備事 業				事	:	費	(A)	239,904		
箇	所	名	いわき市考古資料館 内				除	:	額	(B)			
事告		可 日		交	付 対 (C)=			美 費		239,904	ļ		
事	業着手年。	度	平成25年度				本	国	費	率		4/5	5
事	業 施 行 期	間	平成2	交	付	:	額	(D)	191,923				
工施	事 延 長 及	び 積	2,028m²							摘		要	
事	業完了予定期	日	平瓦	戊26年度				工種			数量	単位	金額
						新	築工	事設	計委	託	1	式	14,234
	経 費		の	记 分			造	すれ はない しょうしゅう しょうしゅ しょうしゅ しょう はいし はい しょう はい しょう はい しょう	事		1	式	20,137
本	エー事	費		225,67	0			築工	-		1	式	196,179
設	計 委 託	費		14,23	4		本体	設備	工事		1	式	9,354
用	地費及補償	費											
船	舶及機械器具	費						_					
エ	事費計(計 (A) 239,904					本工事費・計						239,904

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等工程表(平成25年度~平成26年度)

ツナザナは 00 のにつおし 本サデリにつおしてバナい

平成25年11月現在

接交付先 市	No.			くださし 169			業番号	-		♦ A-	4-6-1			事業名	7	出土遺			设整備事	業	事業	実施主体	いわき市
					平成25	年度											平成2	6年度					
	第1四	半期	第	2四半	朝	第3	四半	期	第	4四半	期	第	1四半	期	第	2四半	期	第	3四半	朝	第	4四半期	, m
測量設計委託							1	測量記	设計委詞	Ŧ	-												工期4ヶ月
地質調査委託								地質記	郡査委	ŧ	-												工期4ヶ月
設計委託												設計割	委託		-								工期4ヶ月
開発行為にかかる 関係課協議																							期間2ヶ月
造成工事																	造成工	事	-				工期3ヶ月
本体工事 (杭、設備工事含む)																			建築工	\$			▶ 工期4ヶ月

(注)上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。(なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。)

⁽注)同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

⁽注)平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

復興交付金事業(第7次申請)に係る事業概要について

【事業名】 (◆A-4-6-1) 出土遺物整理収蔵施設整備事業

◎埋蔵文化財発掘調査で出土した遺物の整理収蔵施設の整備

1 事業概要

埋蔵文化財発掘調査は、埋蔵文化財包蔵地内における大規模な開発行為等の際に行う調査であり、調査後に出土した遺物を整理し、報告書を刊行に終了となります。 震災以後は復興事業に付随し、防災集団移転事業等の計画地における試掘調査を 行ったほか、今後は被災した個人住宅等の再建に伴う試掘・確認調査及び本発掘調 査が控えており、大量の遺物が出土することが確実であります。しかし、既存の整 理・収蔵施設の空きスペースには余裕がなく、埋蔵文化財発掘調査に支障をきたす こととなり、つまりはいわき市における復興事業の促進に大きな支障をきたすこと となるため、出土遺物整理収蔵施設を整備するものです。

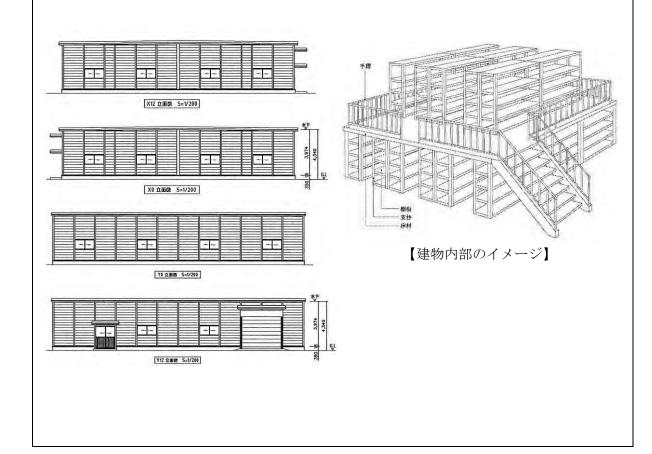
【整備地】 いわき市考古資料館(常磐藤原町手這 50-1)の隣接地

【敷地面積】 2,028 m²(取得済用地) 【施設規模】 収蔵棟 1 棟(443.66 m²)

【整備費用】 250,384 千円(測量、地質調査、設計、造成、建設工事)

2 施設の規模について(収蔵する遺物の量について)

- ・収蔵棟 1 棟 443.66 m² (20.245m×21.915m) 高さ 4.34m
- ・プレハブ造、一階建て(内部構造は積層ラックにて中2階)
- ・計算上で収納箱(W=60 キン、D=40 キン、T=20 キン)が約 5,400 箱収蔵可能。
- ・中2階構造により、遺物を効率的・効果的に収蔵するとともに、限られた空間を最大限に活用できる。



復興事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実績及び見込み

年	調査内容	地区	調査件数	調査面積	出土遺物量
度	₩ <u>4</u> चरा 1,41	>UE	(見込)※1	※ 2	※ 3
		末続		400 m^2	0 箱
	試掘調査	久之浜		190 m²	49 箱
Н	(集団移転)	薄磯		230 m²	59 箱
24	朱山/李山/	豊間		135 m²	29 箱
24		岩間		200 m²	65 箱
	試掘調査(追加)	薄磯		426 m²	502 箱
	試掘調査(追加)	豊間		110 m²	22 箱
	試掘・確認調査		8 件	320 m²	96 箱
	(個人住宅等)	市内	0 17	40 m²×8 件	90 和
	本発掘調査	全堀調査 全域 4.44		300 m^2	90 箱
Н	(個人住宅等)		4件	75 m²×4 件	90 相
25		久之浜		6, 450 m²	1,640箱
	本発掘調査	薄磯		1, 085 m²	777 箱
	平光/	得吸		1, 160 m²	830 箱
		岩間		2, 320 m²	747 箱
Н	試掘・確認調査		16 件	640 m²	192 箱
26	(個人住宅等)	市内	(8 件×2 年)	40 m²×16 件	192 相
\sim	本発掘調査	全域	8 件	600 m²	180 箱
27	(個人住宅等)	_	(4件×2年)	75 m²×8 件	100 相
		合言	計		5,278 箱

- ※ 1 調査件数(見込)については、既採択の埋蔵文化財発掘調査事業(復 興交付金第4次申請事業)の計画値としたもの。
- ※ 2 調査面積については、平成24年度は実績、平成25年度以降については、「久之浜、薄磯、岩間地区」は防集・区画整理事業の計画値、「市内全域」は過去の事例より試掘調査1件当たり40㎡、発掘調査1件当たり75㎡と仮定して算出。
- ※ 3 出土遺物量については、「久之浜、薄磯、岩間地区」は平成24年度の各地区の試掘調査における1㎡当たりの出土遺物量(久之浜地区:5.1点/㎡、薄磯地区:14.3点/㎡、岩間地区:6.4点/㎡)を本発掘調査の実施面積に換算して算出し、「市内全域」は過去の事例より調査面積1㎡あたりの出土遺物量を6点とし、収納箱(W=60キン、D=40キン、T=20キン)に20点収納すると仮定して算出。

3 建設予定地について

作業効率を考慮し、いわき市内の埋蔵文化財調査を請負っているいわき市教委文化事業団が遺物の整理作業を行っているいわき市考古資料館の隣地に出土遺物整理収蔵施設を建設する。

【用地】市有地

土地の地番	地目	地積				
常磐藤原町字手這49番地1	田	1762. 25 m²				
常磐藤原町字手這52番地2	原野	266. 00 m²				
合 計		2028. 25 m²				





【収蔵施設建設にあたっての手続き】

・都市計画法 市街化調整区域であるが、公益上必要な建築物と認められるため、 開発行為の事前協議のみが必要となる。

・農地法 平成21年までに取得した公有地については、農地転用手続きは不要。

4 既存施設での遺物の整理作業および収蔵状況

いわき市内の埋蔵文化財調査にかかる整理作業はいわき市考古資料館内で行われており、整理作業の終わった遺物については、斑堂収蔵庫にて収蔵している状況です。しかし、これまでの収蔵遺物の量だけでも膨大な収蔵量となっており、今後の復興事業等で発生する遺物の量を考えると、収蔵スペースが不足する見込みでおります。

斑堂収蔵庫

【所在地】 いわき市藤原町斑堂 126 番地の 32

【設置年月日】 平成16年9月9日

【構造】 軽量鉄骨造(3棟) ※うち1棟は民俗資料収蔵庫

【建築面積】 1058.28 ㎡

【収蔵遺物の量】22,597箱(平成25年3月末現在・埋蔵文化財収蔵量)

(位置図)



(斑堂収蔵庫の様子)









